

今回は一般ユーザーでなくて30Ftと大型営業艇にRT70SP60インチを取り付けた方の紹介です。

昨年9月頃、トオルさんの紹介にてRT70SPシリーズをお譲りしました鹿児島の方のRT70SPの感想です。私も約1年半かけてボートの艤装部品をUSAから輸入して自分で取り付けましたので共感を覚えました。

この方はMダックス専門犬舎経営と『錦江湾とカラ列島にて』にて遊船業を営業されている方でしてオプションもかなりの数でした。30Ftと大型艇である事や私では現地の海況が不明ですのでRTの70ポンドで推力は不足しないか、心配した事もありましたが、下記のような感想を頂いて安心した次第です。

トオルさんのHPや私のHPに見えた方に、いつも御願っていますが、何ポンドを推奨されますかという質問が時々ありますが、私は現地の潮流や風の強さ等、現地の海況が不明ですので一般的なアドバイスしかできませんのでRT55なのかRT70にするのかの判断は購入者ご自身の判断になりますので、よろしく御願いたします。

◆「RT70SPが佐多岬の灯台情報で北東8mでも余裕の能力を発揮」という感想です。◆

鹿児島の錦江湾は、全国でも大鯛の宝庫として知られています。10キロ超えもそう珍しくない程です。そのエリアで、錦江湾スペシャルというコンセプトにしぼり、新艇を製作することになったのは昨年7月のことでした。

そんな艇の図面すら完成していない時期に、トオルさんのご好意で「ミンコタさん」と、愛知の生田さんとお知り合いになることが出来ました。なぜそれほどまでに私が『RT』に興味と期待をもったかと申しますと、もうひとつの愛艇『飛燕丸』に装備されているバウスラスターを利用した『潮タテ』装置の有効性を認識していたからでした。『潮タテ』とスパンカーとの併用で、19トンの外洋フッシャーでも水深600m以深のキンメダイを狙うことが出来たからです。

生田さんの的確なアドバイスと、ご自分やお仲間のご親切な使用状況情報などから前記のごとく、図面作成中にもかかわらず『RT70』を発注させていただくことになりました。生田さんのご好意とアドバイスはその後の、設計や製作時にもたいへん参考になり感謝するばかりでした。そんな状態ですから不安よりも期待が大きかったことは言うまでもありません。

艇の設計・製作は、『RT70』の使用を中心に進めました。バッテリー配置や各電装装置、バウスプリットやハンドレールまでもが脇役です。さらに、唯一の不安点であった電源容量不足(充電システム)も試行錯誤の結果、サーキットブレイクの危険の無いシステムも構築してもらうことが出来ました。一年の歳月・・・。

何だかんだで、今年の6月に『RT70』で武装した新艇『浪花』がめでたく進水致しました。

インプレッションですが、もう満足度100% いや120%です。最高速も、最高42ノット、巡航28～30ノットを達成し、この艇の真骨頂である釣り性能も上々、ほんとに『RT70』の効果は絶大でした。佐多岬の灯台情報で北東8mでも余裕の能力を発揮し、作動が予想以上に波のピッチングにも耐えられることにも驚かされました。この風タチ性能の良さは、和船のハル形状と舷の低さも影響していると思いますが、『絶対に釣りたい人』、攻撃的な釣り人にはぜひお勧めしたい『RT70』です。

◆シックス和船改・センターコンソール30Ftの進水式の画像です。すばらしいボートですね！◆

